

# 平成30年度 湖都大津・新水道ビジョン 前期（平成28～32年度）の達成状況

## 【経営指標】

指標の分類		指標の意味	27年度末 (改訂時)	30年度末 状況	32年度末 目標
経営指標					
算出式					
<b>経営の健全性・効率性</b>					
<b>経常収支比率 (%)</b> = 経常収益額 ÷ 経常費用額 × 100	<b>「経常損益」</b> ：料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表します。	110.16	127.73	115.36	
<b>流動比率 (%)</b> = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100	<b>「支払能力」</b> ：1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がどの程度あるかを表します。	184.52	222.70	163.64	
<b>企業債残高対給水収益比率 (%)</b> = 企業債現在高合計 ÷ 給水収益 × 100	<b>「債務残高」</b> ：料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表します。	416.59	307.01	421.45	
<b>料金回収率 (%)</b> = 給水単価 ÷ 給水原価 × 100	<b>「料金水準の適切性」</b> ：水道料金で回収すべき経費を、どの程度賄えているかを表しており、100%以上が望ましいとされています。	103.79	122.43	110.57	
<b>給水原価 (円)</b> = 経常費用 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価 + 附帯事業費) - 長期前受金戻入 ÷ 年間総有収水量	<b>「費用の効率性」</b> ：有収水量1㎡あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表しています。	131.52	131.67	145.14	
<b>施設利用率 (%)</b> = 一日平均配水量 ÷ 一日配水能力 × 100	<b>「施設の活用度」</b> ：施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対して、実際に使われている割合を表しています。	61.35	67.59	58.40	
<b>有収率 (%)</b> = 年間総有収水量 ÷ 年間総配水量 × 100	<b>「施設の効率性」</b> ：施設・設備が対応する水量のうち、料金収入の対象となった割合を表しています。	93.34	94.95	93.00	
<b>老朽化の状況</b>					
<b>有形固定資産減価償却率 (%)</b> = 有形固定資産減価償却累計額 ÷ 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価格 × 100	<b>「施設全体の減価償却の状況」</b> ：有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表しており、施設の老朽化度合いを示しています。	44.89	48.50	51.19	
<b>管路経年化率 (%)</b> = 法定耐用年数を超過した管路延長 ÷ 管路延長 × 100	<b>「管路の経年化の状況」</b> ：法定耐用年数を超過した管路延長の割合を表しており、管路の老朽化度合いを示しています。	12.51	18.15	21.88	
<b>管路更新率 (%)</b> = 当該年度に更新した管路延長 ÷ 管路延長 × 100	<b>「管路の更新投資・老朽化対策の実施状況」</b> ：当該年度に更新した管路延長の割合を表しており、管路の更新ペースや状況を把握できます。	0.40	0.44	0.49	